

「生物多様性国家戦略 2010」の概要

第1部：戦略

いのちと暮らしを支える生物多様性

- ・すべての生命の存立基盤
- ・将来を含む有用な価値
- ・豊かな文化の根源
- ・暮らしの安全性

【課題】4つの危機

- ・人間活動や開発による危機
- ・里地里山など人間活動の縮小による危機
- ・人間により持ち込まれたものによる危機
- ・地球温暖化による危機

【目標】

中長期目標（2050年）

生物多様性の状態を現状以上に豊かなものとする

短期目標（2020年）

生物多様性の損失を止めるために、2020年までに、

- ・生物多様性の状況の分析・把握、保全活動の拡大
- ・生物多様性を減少させない方法の構築、持続可能な利用
- ・生物多様性の社会への浸透、新たな活動の実践

中長期目標・
短期目標の
設定

【長期的視点】 100年先を見据えたグランドデザイン

概ね平成24年度までの重点施策

4つの基本戦略

社会への浸透

- 生物多様性の社会への浸透
- 地域レベルの取組の促進・支援

人と自然の関係の再構築

- 希少野生動植物の保全施策の充実
- 自然共生・循環型・低炭素社会の統合的な取組の推進
- 森・里・川・海のつながりの確保
- 海洋の保全・再生の強化

地球規模の視野を持った行動

- COP10の成功
- SATOYAMA イニシアティブの推進
- 科学的な基盤の強化
- 科学と政策の接点の強化
- 経済的視点の導入
- 途上国の支援

国内施策の
充実・強化

国際的な
取組の推進

第2部：行動計画

・約720の具体的施策

・35の数値目標